

社会福祉法人優美会 とだ優和の杜

平成 2 6 年度事業報告書

平成 2 6 年度事業報告書

平成 2 6 年 3 月のオープンから約 1 年が経過しました。
関係の方々の理解と協力により、デイサービス、ショートステイの利用が伸びないなどの課題もありますが、実質的に開業 2 年度目を迎えることができました。

今後も、「安心・安全」を第一に考え、施設の運営・整備、職員の確保等に全力で取り組んでまいります。

1. 法人の運営

(1) 理事会の開催

開催日時	出席者数	議案
5 月 2 7 日 (火) 1 8 : 4 5 ~	6	平成 2 5 年度事業報告、平成 2 5 年度決算報告、苦情対応規程について
9 月 3 日 (水) 1 8 : 3 5 ~	6	評議員の委嘱に係る同意について、物品「福祉車両 (軽自動車)」調達指名競争の実施について、その他報告事項
9 月 1 0 日 (水) 1 6 : 0 0 ~	6 (3)	理事長の互選について、その他報告事項
9 月 2 4 日 (水) 1 6 : 0 0 ~	6 (3)	物品「福祉車両 (軽自動車)」の売買契約締結について
1 1 月 1 9 日 (水) 1 5 : 3 0 ~	4 (2)	施設長の任命について
3 月 1 7 日 (火)	5	平成 2 7 年度事業計画、平成 2 7 年度予算、その他

※出席者数のカッコ内の数字は書面による出席者数

(2) 評議員会の開催

開催日時	出席者数	議案
5 月 2 7 日 (火) 1 8 : 0 0 ~	1 1	平成 2 5 年度事業報告、平成 2 5 年度決算報告、苦情対応規程について 決算監事監査・事業運営監事監査報告
9 月 3 日 (水) 1 8 : 0 0 ~	1 2	理事の選任について、監事の選任について、物品「福祉車両 (軽自動車)」調達指名競争の実施について、その他報告事項
3 月 1 7 日 (火)	1 0	平成 2 7 年度事業計画、平成 2 7 年度予算、その他

第1号議案

(3) 監事監査の実施

開催日	出席者数	監査事項
4月24日(木)	2	平成25年度施設運営状況
5月20日(火)	2	平成25年度決算

2. 施設の運営・管理

(1) 諸規定の整備

苦情対応規程制定

制定日 5月27日(火)

(2) 高額備品の購入(入札実施状況)

福祉車両(軽自動車)

入札実施日 9月9日(金)

指名競争入札により、有限会社 中山自動車工業が落札

(3) 労務管理

労使協定(36・24協定)

協定年月日: 10月1日

届出年月日: 10月15日

※以前の協定は労働者代表が出向職員であった為、優美会職員と締結しなおした

(4) 職員の健康管理

①夜勤従事者健康診断

実施日: 8月25・26日

対象者: 68名

受診率: 100%

②一般定期健康診断

実施日: 3月6・10日

対象者: 152名(内、25名人間ドック受診)

受診率: 100%

③職員対象予防接種(インフルエンザ)

実施日: 11月5・12日

接種者: 129名

第 1 号議案

(5) 施設・設備の管理

①給水設備（受水槽）清掃

実施日：11月19日

委託業者：山大物産株式会社

所見：異常なし

②法定水質検査

実施日：1月29日

委託業者：一般社団法人埼玉県環境検査研究協会

所見：良好

③昇降機設備法定検査

実施日：1月26日

委託業者：東芝エレベーター株式会社

所見：異常なし

④消防設備機器点検

実施日：7月9日

委託業者：能美防災株式会社

所見：異常なし

⑤消防設備総合点検

実施日：1月23日

委託業者：能美防災株式会社

所見：異常なし

⑥害虫防除駆除（年2回実施）

【1回目】

実施日：9月22日

委託業者：ユタカ環境衛生

所見：異常なし

【2回目】

実施日：2月27日

委託業者：ユタカ環境衛生

所見：異常なし

第1号議案

(6) 職員研修・訓練等（全職員対象）

①褥瘡対策研修

実施日：11月19日

内容：褥瘡に関する援助方法について

講師：戸田中央総合病院 守屋看護師

参加者数：27名

②感染症対策研修

【1回目】

実施日：7月8日

内容：感染症対策マニュアルについて

講師：竹田ケア部長

参加者数：44名

【2回目】

実施日：10月14日

内容：冬に多い感染症と対策

講師：中村看護師

参加者数：40

③事故防止対策研修

【1回目】

実施日：8月28日

内容：介護安全マニュアルについて

講師：竹田ケア部長

参加者数：41名

【2回目】

実施日：3月13日

内容：平成26年度インシデント・アクシデント分析

講師：竹田ケア部長

参加者数：32名（DVDによる受講者65名）

④虐待防止研修

【1回目】

実施日：11月27日・12月5日

内容：虐待防止研修

講師：竹田ケア部長

参加者数：67名

第 1 号議案

【2回目】

実施日：3月13日

内 容：虐待の芽チェックリスト分析

講 師：竹田ケア部長

参加者数：32名（DVDによる受講者65名）

⑤看取り介護

実施日：9月4・5日

内 容：看取り介護研修 V o l . 1

講 師：江幡看護課長

参加者数：合計55名

実施日：9月29日

内 容：いのちの看取り

講 師：介護老人保健施設グリーンビレッジ安行 小島療養部長

参加者数：50名

⑥身体拘束廃止

実施日：3月13日

内 容：身体拘束廃止マニュアル改定について

講 師：竹田ケア部長

参加者数：32名（DVDによる受講者65名）

⑦消防訓練

【昼間想定】

実施日：6月26日

内 容：2階ケアハウス南東側きらめき3番地5号室より出火を想定し消火、通報、避難訓練を実施。その他、はしご車による救助訓練、消火器取り扱い説明を行う。消防署員立会い有。

参加者数：34名

【夜間想定】

実施日：11月27日

内 容：5階南東側こもれび3番地共同生活室より出火を想定し、消火、通報、避難訓練を実施。その他、屋内消火栓取り扱い説明を行う。

参加人数 34名

第 1 号議案

(7) 各種マニュアルの整備

①介護安全マニュアル	安全管理委員会
②感染対策・食中毒まん延防止マニュアル	感染対策委員会
③情報管理マニュアル	情報管理委員会
④災害対策マニュアル	防災対策委員会
⑤BCP（事業継続計画）	防災対策委員会
⑥虐待防止・身体拘束廃止マニュアル	身体拘束検討委員会
⑦苦情対応マニュアル	苦情対応委員会
⑧褥瘡対策マニュアル	褥瘡対策委員会
⑨看取り介護ハンドブック	ケア部
⑩介護手順ハンドブック	ケア部
⑪ケア部業務マニュアル	ケア部
⑫接遇マニュアル	サービス向上委員会

3. 特別養護老人ホーム

(1) 年度事業目標の実現

- ①6月までに全入居者の入居を完了する。
 - ②安心して生活が始められるよう、本人・家族と信頼関係を作る。
 - ③安全に各ユニット、フロアが運営できるようスタッフ間の信頼関係を確立する。
 - ④居室担当者を中心にその方らしさが見える24時間シートを作成し、個別ケアを実践する。
 - ⑤「トイレで排泄する」「口から食べる」「普通の風呂に入る」「自分で移動する」ことを支えるケアを実践する。
- 以上の目標を実現するため、種々の活動を行った。

(2) 主な活動

- ①6月までに必要な介護職員の確保が困難だったため、確保状況に応じて順次オープンすることを余儀なくされた。
 - ・具体的なオープンの状況は次のとおり

あおば（3階多床室）	3月	6日オープン
こもれび（5階ユニット）	3月	5日オープン
せせらぎ（4階ユニット）	4月	23日オープン
さえずり（3階ユニット）	9月	18日オープン
- ②入居前の施設見学時にケアマネージャー・介護職員が、本人・家族にお会いしてオリエンテーションを行うとともに生活の様子や意向を確認した。

第1号議案

- ③入居時にはサービス担当者会議を開催し、各職種の職員と本人・家族との意見交換、顔合わせを行った。
- ④入居1ヶ月後にサービス担当者会議を開催し、その結果を本人・家族に説明した。
- ⑤毎月ユニット会議を実施し、運営の改善点等について検討した。
- ⑥連絡ノートを活用し、情報の共有に努めた。
- ⑦ユニットリーダー会議フロアリーダー会議を実施し、相互のサポート体制を作った。
- ⑧5月から委員会が活動し、組織横断的にシステムの構築を行った。
- ⑨居室担当者を中心に24時間シートを作成したが、定期的な見直しやサービス担当者会議を利用したの検討が実施できなかったため、次年度の重点課題とする。
- ⑩理学療法士、作業療法士によるリハビリラウンドを週2回実施し、日常生活におけるのと同様な動作が行なえることを目的とした、生活リハビリテーションの視点での介護に取り組んだ。また、歯科衛生士によるミールラウンドや歯科医師による嚥下内視鏡検査を活用し、「おいしく、安全に食べる」ことに取り組んだ。

(3) 利用状況

9月に特養すべてがオープンし、3月に全フロアが満床になった。入居決定から入居までに時間がかかったこと、退去があったことなどから満床になるまでに多くの時間を要した。

4. ケアハウス

(1) 年度事業目標の実現

- ①6月までに全入居予定者の入居を完了する。
 - ②安心して入居生活が始められるよう、本人・家族との信頼関係を築く。
 - ③安全に運営できるよう、スタッフ間の信頼関係を確立する。
 - ④「自立した生活」を尊重し、それが長く続けられるよう、サポートする。
 - ⑤要介護認定を受けた方に対しては重度化を予防し、「自律した生活」ができるようなサポートをする。
- 以上の目標を実現するため、種々の活動を行った。

(2) 主な活動

- ①平成26年3月1日に白寿荘の入居者13名を受け入れ、5月1日に全入居者の入居を完了した。
- ②平成27年3月31日現在自立14名、特定施設入居者生活介護（要支援1以上）16名。
- ③生活相談員、ケアマネージャー、ユニットリーダーを中心に、生活上のご希望や

第1号議案

ルールを入居者と相談しながら決定していった。

- ④業務連絡ノートを作成し、情報共有を行なった。ユニットリーダー会議、居宅リーダー会議を実施し、サポート体制を作った。
- ⑤委員会に参加し、組織横断でシステムを構築した。
- ⑥理学療法士、作業療法士によるリハビリラウンドを実施し、自主トレメニューを提案してもらった。
- ⑦「お買い物レク」を計画し、近隣のスーパーで日用品やおやつなどをご自分で選び、買い物をする機会を定期的に作った。また、朝のラジオ体操、午後のレクリエーションを毎日実施した。
- ⑧ケアマネージャーを中心に重度化を予防する視点でのケアプランを立案し、サービス提供をした。

(3) 利用状況

利用率は4月から98%を維持した。入院は4名延べ4回。退所は2名で、1名親族と同居のため退所。病院での死亡退所が1名だった。

5. 短期入所生活介護事業

(1) 年度事業目標の実現

- ①安心して利用できるよう、本人・家族と信頼関係を作る。
 - ②安全に各ユニットが運営できるよう、スタッフ間の信頼関係を確立する。
 - ③ご自宅での生活と連動できるよう24時間シートを作成し、個別ケアを実践する。
- 以上の目標を実現するため、種々の活動を行った。

(2) 主な活動

- ①利用開始・終了時には介護職員が送迎に添乗し、本人の状況確認と家族への挨拶・報告を行っている。
- ②連絡帳を作成し、利用中の様子を記載している。
- ③連絡ノートを作成し、情報共有を行っている。
- ④利用開始時に24時間シートを作成し、その方の生活リズムで過ごしていただけるよう工夫している。

(3) 利用状況

必要な介護職員の確保が困難だったため、当初は2ユニット中1ユニットのみで運営した。1月15日から2ユニットオープンしたが、登録数が少なく、平均稼働率は40%である。

第1号議案

3月31日現在、登録者数77名。3月よりデイサービス、ショートステイ稼働プロジェクトを発足させ、利用者の増加を図るための方策を検討するとともに、具体的な活動を準備中である。

6. 通所介護事業

(1) 年度事業目標の実現

- ①安心して通所サービスが利用できるよう信頼関係を作る。
- ②安全に運営できるようスタッフ間の信頼関係を確立する。
- ③利用者の自宅での生活がより「自分らしく」「自分の力で」継続できるためのケアを提供する。

以上の目標を実現するため、種々の活動を行った。

(2) 主な活動

- ①利用初日には、ケアプランの情報や初回利用時の状態に基づき、暫定計画書を作成した。利用開始から2週間以内にケアスタッフ、リハビリ担当者、看護職等でカンファレンスを実施し、本計画書を作成した。暫定計画書及び本計画書について、利用者本人又は家族に説明し、同意を得た。
- ②毎日カンファレンスを行い、それぞれの利用者について配慮すべきことを情報共有した。
- ③個別機能訓練では、自宅での生活の様子を確認し訓練に反映させた。

(3) 利用状況

職員の状況等を勘案し定員20名からスタートし、9月に25名、2月に35名に定員を増員した。3月31日現在の登録数は88名、3月度1ヶ月間における一日平均の利用者数は24.4名である。

7. 居宅介護支援事業所事業

(1) 年度事業目標の実現

- ①利用者・家族との信頼関係を築く。
 - ②行政・地域包括・地域ケアマネージャー及びサービス提供事業者との連携を図る。
- 以上の目標を実現するため、種々の活動を行った。

(2) 主な活動

- ①介護保険情報を速やかに把握し、利用者・家族への情報提供に努めた。

第 1 号議案

平成 27 年度 4 月からの介護保険改正情報など口頭や文書にて内容をわかりやすく説明するよう心掛けた。難病の利用者のために、協会に加入し病気に対する理解や制度について情報収集した。

②介護支援専門員を対象とする研修会や指導者会に参加し、サービスの質の向上に努めた。

【研修会等参加実績】

・埼玉県認定調査員新規研修	4 月
・埼玉県事業者集団指導	5 月
・講演会「難病法で変わること」 「ALS ってどんな病気？どんなケアが必要？」	5 月
・埼玉県介護予防従事者レベルアップ研修	10 月
・講演会「精神難病のリハビリテーション」	11 月
・介護保険説明会（戸田市）	2 月

8. 生活相談科事業

(1) 年度事業目標の実現

①とだ優和の杜の各サービス（特養・デイサービス・ショートステイ・ケアハウス）を円滑に利用できるよう支援していく。

②安心してサービスを利用していただけるよう利用者・家族・居宅ケアマネージャーとの信頼関係を築く。

③施設内の各職種との連携を図る。

以上の目標を実現するため、種々の活動を行った。

(2) 主な活動

①各サービスの申込み受付、利用前の調査、判定会議、各職種への情報提供、利用日調整を行った。

②フロア担当制にすることで、利用者・家族に対して相談から利用まで安心して相談できるようにした。

③フロア担当制は各職種とのコミュニケーションを図る上でも効果的であった。

④「クラブ活動をつくろうの会」と称して、入居者参加で話し合いの場をつくり、園芸クラブ、ハンドベルクラブの活動を実施した。入居者同士がユニットを超えて知り合う機会を持てたことは、意欲的に生活を送る助けになったのではないかと。

⑤ボランティア活動（コーラス・押し花・ハーモニカ演奏など）の日程調整・連絡調整 10 団体 24 回の活動があった。

第1号議案

(3) 利用状況

➤ 特養相談報告

	前年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規申し込み		15	17	16	13	9	12	15	8	7	9	10	11
入居	ユニット型	30	14	13	5	1	8	7	8	2	2	2	1
	従来型	8	4	0	3	1	5	1	1	0	2	0	1
待機者	316	281	265	251	248	247	240	229	217	207	207	209	210
キャンセル		12	15	17	8	8	6	18	11	15	5	6	8

➤ 短期入所生活介護登録者推移

	前年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規登録者		5	13	12	9	6	6	8	4	4	1	7	3
登録者数	16	19	31	42	49	54	58	63	65	69	70	75	76
キャンセル		2	1	1	2	1	2	3	2	0	0	2	2

➤ 通所介護登録者推移

	前年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規登録者		16	5	6	8	9	10	9	6	2	3	7	8
登録者数	18	34	38	44	50	59	67	75	77	77	78	82	88
キャンセル		0	1	0	2	0	2	1	4	2	2	3	2

9. 栄養科事業

(1) 年度目標の実現

- ・入居者の健康状態や多様化したニーズに対応し、安全で美味しい食事を安定して提供する。
- ・質の高い健康食・介護食を提供し、「食べる楽しみ」と「口から食べる」を支えるフードサービスを確立する。

以上の目標を達成するため、種々の取り組みを行った結果、次の点について実現できた。

- ①給食委託会社、ケア部との連携により、ユニット配膳が定着することにより、安全な食事の提供。
- ②摂食回復支援食の提供をはじめとして、ソフト食の充実。
- ③「地産地消」の食材を使用した季節の行事食の提供、食事レクリエーションを実施し、「食べる楽しみ」の提供。

今後も検討すべき課題や煩雑な作業を調整し、利用者の満足度向上に努め、美味しく、質の高い健康食・介護食の提供を実現するため努力する。

第1号議案

(2) 主な活動

①「地産地消」

地域に愛し愛される施設として「地産地消」を掲げ、11月より埼玉県産の食材を取り入れた季節の行事食を提供した。

②行事食の実施

季節感のある食材を取り入れ、食事の楽しみを演出できる行事食を立案し、5月より毎月実施。また、料理をしている音や香りなどを感じていただけるように、「食事レクリエーション」を実施し、入居者に盛り付けなどの簡単な調理作業をしていただいた。

③キザミ食を廃止し食べる楽しみを支援した

他職種との連携、介護食素材の導入、調理方法を工夫することで、個々の機能に応じた食事の提供に努めた。引き続きノーエプロン・食べこぼしゼロの実現を目指す。

④クックチルシステムによる安全で質の高い食事提供

クックチルシステムを活用した調理方法を実践、1年を通して、安全な食事提供が行なえた。

⑤健康・栄養管理

ケア部、リハ科との協働により栄養ケアマネジメントを実施。利用者の健康、栄養管理を支援した。

(3) 今後の取り組み

①誕生日のお祝いや家族との面会時など、入居者、家族のニーズに対応した特別食の提供に努めたい。

②看取りへの対応として、最期まで喉を潤し「口から食べる」を支えるため、一杯でバランスよく栄養が補給されるスープ食を提供するため、引き続き他職種との連携を図りながら、負担なく栄養を補える食事の提供に努めたい。

10. 看護科

(1) 年度目標

①入居者・利用者の健康状態を把握し、施設で安全に、安心して生活を始められるよう介護職と連携する。

②施設全体が健康的で安全に運営できるよう、システム構築に参画する。

以上の目標を達成するため、種々の活動を行った。

(2) 主な活動

①配置医「平成ゆうわクリニック」と連携し、入居者の健康管理を行った。

第1号議案

- ②介護職・ケアマネージャーと協働し、医療的ケアが必要な方について、家族・本人への説明を行うとともに、医療機関との連携を行った。
- ③入居時、サービス担当者会議や各ユニットのユニット会議に参加し、入居者の生活について看護の視点でサポートした。
- ④リハビリテーションラウンド、嚥下内視鏡検査などに参加し、ケア部の4つの方針「口から食べる」「トイレで排泄する」「普通の風呂に入る」「自分で移動する」が実現できるようサポートした。
- ⑤感染症対策委員会と協力し、入居者の健康状態の把握とともに職員の健康状態の把握・予防接種を行い、感染症の発生予防・拡大防止に努めた。

(3) 利用者の入院等

①入院

ケアハウス 4名 計4回 (戸田中央3名、公平1名)

特 養 25名 計38回 (戸田中央35回、戸田病院2回、板橋中央1回)

②死亡

施設での看取り 1名

他院入院後死亡 7名

1.1. 収益事業

(1) 診療所建物賃貸事業

入居者の診察・健康管理を目的とした「平成ゆうわクリニック」を運営する、医療法人社団 平成医会に診療所建物を賃貸した。

(2) 自動販売機設置事業

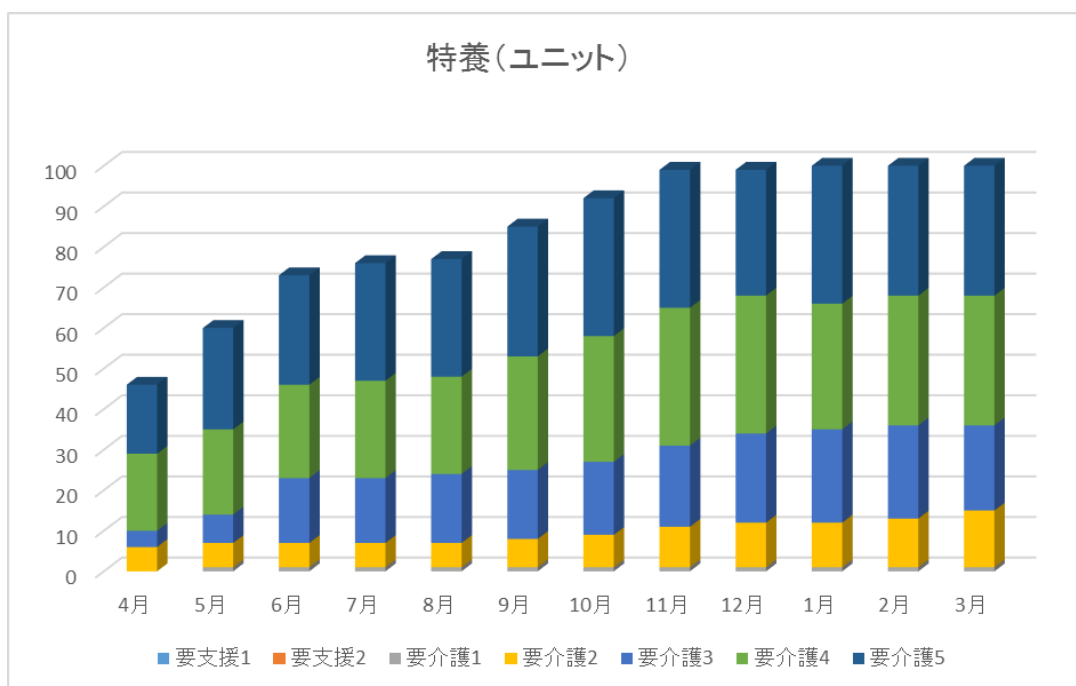
6階談話コーナーに1台、敷地内職員休憩スペースに1台、計2台の飲料販売機を設置。

第 1 号議案

1 2. 事業別利用報告

(1) 特別養護老人ホーム（ユニット型） 定員 1 0 0 名

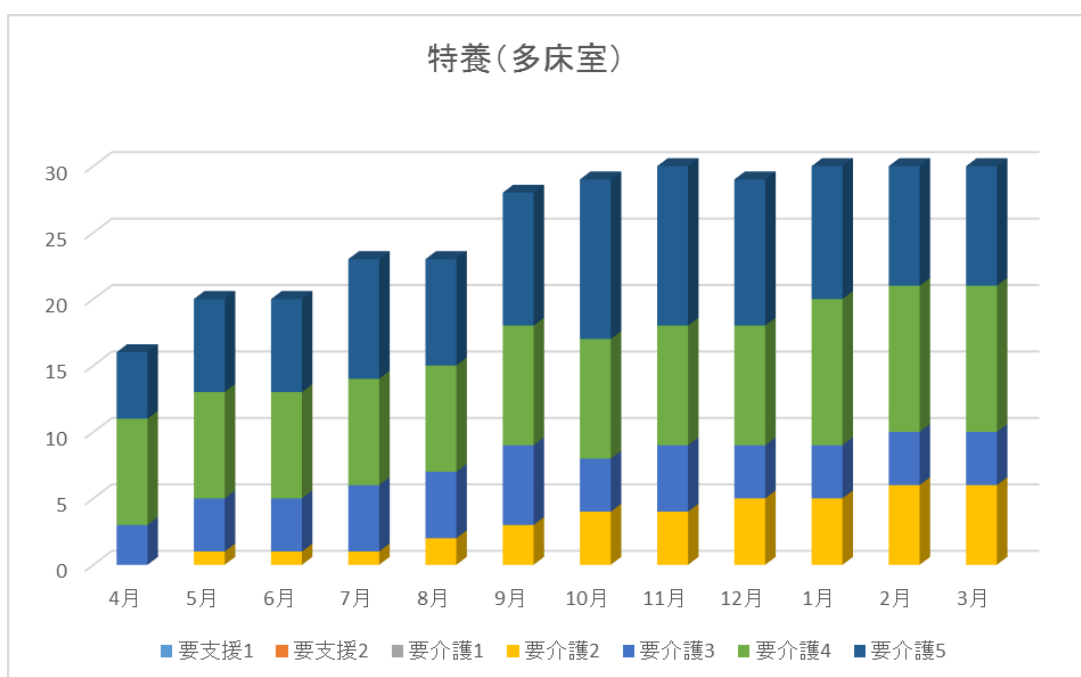
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	0.9
要介護2	6	6	6	6	6	7	8	10	11	11	12	14	103	8.6
要介護3	4	7	16	16	17	17	18	20	22	23	23	21	204	17.0
要介護4	19	21	23	24	24	28	31	34	34	31	32	32	333	27.8
要介護5	17	25	27	29	29	32	34	34	31	34	32	32	356	29.7
合計	46	60	73	76	77	85	92	99	99	100	100	100	1,007	83.9



第 1 号議案

(2) 特別養護老人ホーム（従来型） 定員 30 名

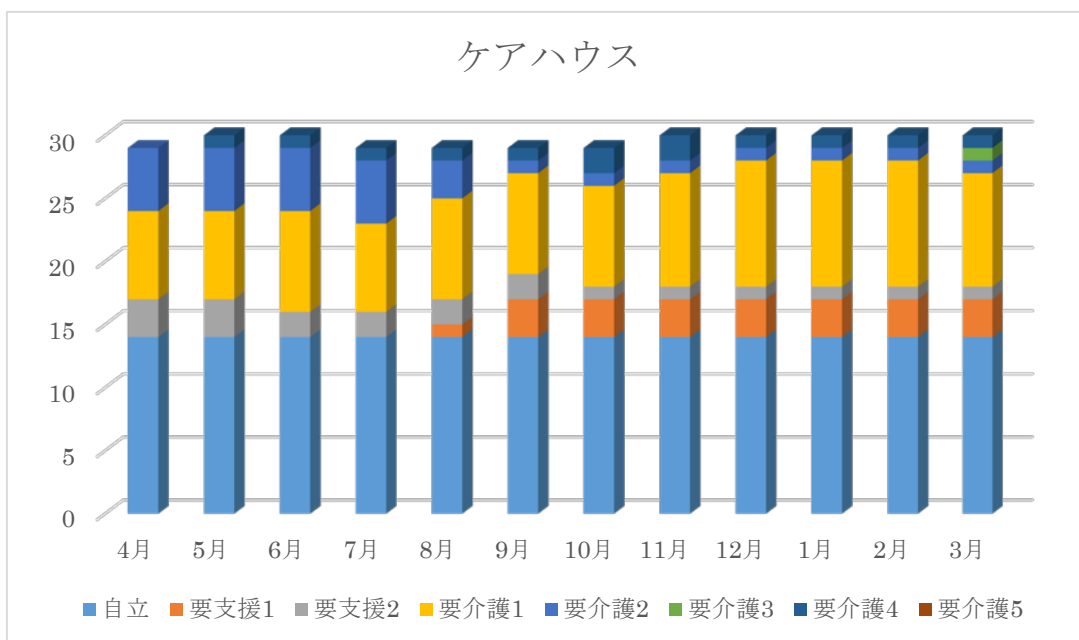
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護2	0	1	1	1	2	3	4	4	5	5	6	6	38	3.2
要介護3	3	4	4	5	5	6	4	5	4	4	4	4	52	4.3
要介護4	8	8	8	8	8	9	9	9	9	11	11	11	109	9.1
要介護5	5	7	7	9	8	10	12	12	11	11	9	9	110	9.2
合計	16	20	20	23	23	28	29	30	29	31	30	30	309	25.8



第 1 号議案

(3) ケアハウス：定員30名

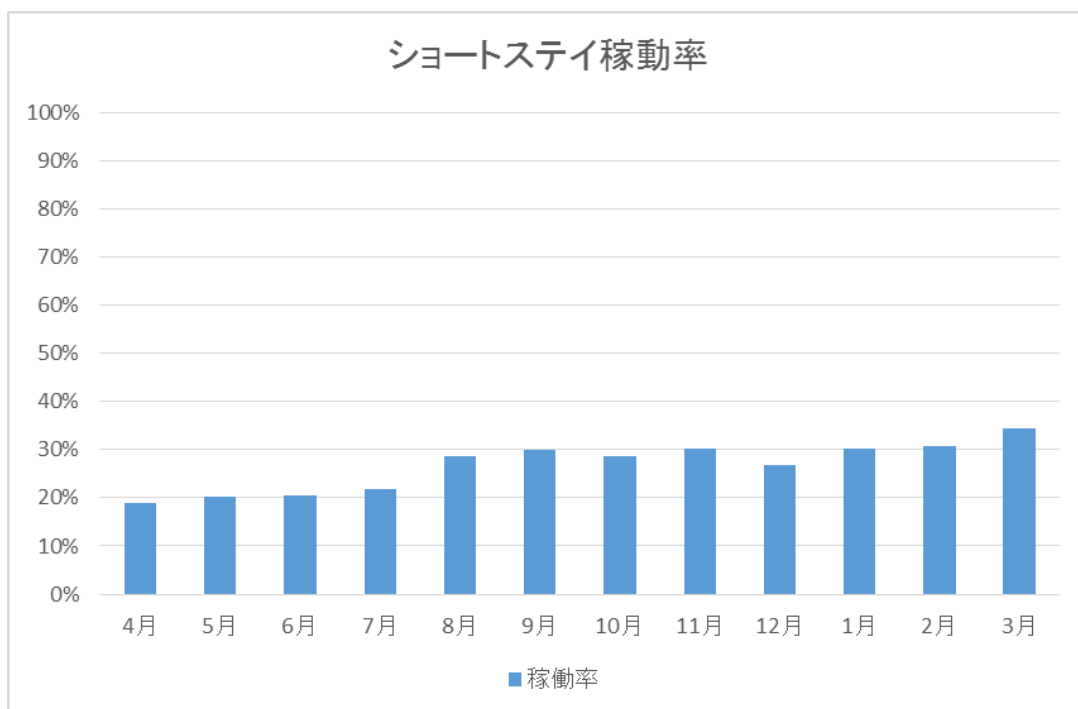
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
自立	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168	14.0
要支援1	0	0	0	0	1	3	3	3	3	3	3	3	22	1.8
要支援2	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	20	1.7
要介護1	7	7	8	7	8	8	8	9	10	10	10	9	101	8.4
要介護2	5	5	5	5	3	1	1	1	1	1	1	1	30	2.5
要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1
要介護4	0	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	13	1.1
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	29	30	30	29	29	29	29	30	30	30	30	30	355	29.6



第 1 号議案

(4) 短期入所生活介護：定員 20 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
要支援1	0	0	0	0	0	0	5	5	0	7	0	0	17	0.05
要支援2	14	5	2	4	5	2	0	2	0	0	3	7	44	0.1
要介護1	7	14	13	9	20	27	24	41	22	26	41	38	282	0.8
要介護2		5	11	24	29	31	26	30	30	28	46	45	305	0.8
要介護3	50	54	68	63	76	88	76	69	88	90	55	98	875	2.4
要介護4	29	27	7	4	8	10	18	6	4	5	9	26	153	0.4
要介護5	14	21	22	32	40	21	29	29	22	32	18		280	0.8
合計	114	126	123	136	178	179	178	182	166	188	172	214	1,956	5.4
利用率	19%	20%	21%	22%	29%	30%	29%	30%	27%	30%	31%	35%	27%	27%



第 1 号議案

(5) 通所介護：定員 40 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
要支援1	4	4	7	9	6	9	17	11	12	11	10	11	111	0.4
要支援2	9	14	15	22	45	44	39	50	59	60	59	61	477	1.5
要介護1	74	86	93	102	112	152	185	130	163	141	153	171	1562	5.1
要介護2	38	56	63	85	79	96	127	129	122	147	147	178	1267	4.1
要介護3	31	55	48	74	76	92	101	108	104	110	106	100	1005	3.3
要介護4	21	32	43	45	41	54	51	45	44	40	41	44	501	1.6
要介護5	32	36	43	48	40	49	52	70	65	65	68	70	638	2.1
合計	209	283	312	385	399	496	572	543	569	574	584	635	5561	18.0
利用率	20%	26%	31%	36%	38%	48%	53%	54%	55%	60%	61%	61%	45%	45%

